

令和元年度 消費・安全対策交付金事後評価の概要(ソフト・一般型)

目的	目標	事業内容	目標値	実績	達成度	評価	事業実施主体	交付金相当額(円)	評価の概要	第三者の意見の概要	
農畜水産物の安全性の向上	農薬の適正使用等の総合的な推進	・農薬の安全使用の推進 ・農薬の適切な管理及び販売の推進 ・実態把握を通じた原因究明及びリスク感知措置の評価	農薬の不適切な販売及び使用の発生割合	2.5%	3.4%	99%	A	岐阜県	839,623	農薬の不適切な販売及び使用の発生率は調査実施販売者数が減少したため、2.6%から3.4%となり、0.8ポイント増加した。県内農産物での残留農薬基準の超過事例は発生していない。 今後も継続的な法遵守の啓蒙が必要であるものの、各種研修や実態調査を行うことにより、農薬販売者及び農薬使用者の農薬適正使用の意識は高まり、食品の安全上のリスク低減は図られたと考える。	関係者の人員削減の影響で、調査実態販売者数が減少し、違反率が上昇した点は理解した。農薬適正使用、農薬の適切な管理及び販売に関して、妥当な方法で評価されている。
伝染性疾病・病害虫の発生防止・まん延防止	家畜衛生の推進	・監視体制の整備 ・家畜衛生対策による生産性向上の推進 ・畜産物の安全性向上 ・家畜衛生対策の推進に係る関連機器の整備	家畜衛生に係る取組の充実度	102	81	79%	B	岐阜県	8,130,581	病性鑑定は、家畜保健衛生所が農場巡回時に受け付ける場合と、直接家畜保健衛生所へ持ち込まれる場合がある。豚熱が発生した場合、家畜保健衛生所職員は防疫措置を最優先に行う。豚熱の発生により、防疫措置や豚熱の検査を実施する必要があったこと、農場巡回の頻度も低下したことで、病性鑑定の検査件数は過去平均より減少したが事業の内容は適正である。	昨年度に続いて、豚熱の発生により検査件数は減少し、伝染性疾病の発生件数は例年よりやや減少した。結果として達成度は79%となり、県の評価は妥当である。また、動物用医薬品販売店舗の指導、耐性菌調査等をはじめ幅広い事業の実施ができています。 今後とも伝染性疾病の発生防止のため、より積極的、継続的な事業の実施を期待する。

令和元年度 消費・安全対策交付金事後評価の概要(ソフト・一般型)

目的	目標	事業内容	目標値	実績	達成度	評価	事業実施主体	交付金相当額(円)	評価の概要	第三者の意見の概要	
伝染性疾病・病害虫の発生防止・まん延防止	養殖衛生管理体制の整備	・総合推進会議の開催等 ・養殖衛生管理指導 ・養殖場の調査・監視 ・疾病の発生予防・まん延防止	養殖衛生管理指導を実施した経営体数の養殖等経営体総数に占める割合	92.9%	92.9%	100%	A	岐阜県	964,000	当初の計画とおりに事業を実施することができ、目標値の達成度は100%と良好な結果を得ることができた。	当初の計画と新たな問題に対し適切に事業を実施している。目標達成度100%は評価できる。
	病害虫の防除の推進	・病害虫防除農薬環境リスク低減技術確立 ・地域特産農産物における効果的な防除技術の開発	農薬環境リスク低減の現状値からの向上率	104%	112%	107%	A	岐阜県	1,102,543	病害虫の防除の推進に関する本事業は適正に実施され、目標を達成した。	有機農業に使用できる安全で環境にやさしい農薬の活用が期待できる。妥当な方法で評価されている。
	重要病害虫の特別防除等	・重要病害虫侵入警戒調査等の実施	重要病害虫侵入警戒調査の実施回数	48回	48回	100%	A	岐阜県	26,000	当初計画における調査地点数、調査回数を達成することができた。 誘殺トラップ調査により、本県へのミカンコミバエの侵入は確認されなかった。	妥当に事業実施されている。
総計・総合達成度					85%	A		11,062,747			

令和元年度 消費・安全対策交付金事後評価の概要(ソフト・特別交付型)

目的	目標	事業内容	目標値		実績	達成度	評価	事業実施主体	交付金相当額(円)	評価の概要	第三者の意見の概要
伝染性疾病・病害虫の発生防止・まん延防止	家畜衛生の推進	・家畜衛生対策による生産性向上の推進	CSFのまん延防止	—	CSFのまん延防止を図ることができた	達成	適正	岐阜県	9,682,420	野生いのししの検査促進に取り組んだこと、及び発生農場に対する適切な防疫措置の実施により、地域の農場における豚熱のまん延防止を図った。豚熱感染いのししの浸潤状況調査により実態を把握することは、適切なまん延防止対策を進めるには不可欠であり、必要な事業を推進し、9月の発生以降は小康状態を保っており、農場でのまん延防止を図ることができた。	豚熱が発生した豚等飼養農場に対し適切な防疫措置を実施できている。また、豚熱感染野生いのししの浸潤状況調査も的確に実施できていることで9月の発生以降は小康状態を保っており、農場でのまん延防止を図ることが出来ていることから、県の評価は妥当である。
	重要病害虫の特別防除等	・特殊病害虫緊急防除	プラムポックスウイルスのまん延防止	—	プラムポックスウイルスのまん延防止	達成	適正	岐阜県	202,328	PPVについてウメとウメ以外の植物で調査することで感染状況を確認し、まん延を最小限にとどめることができた。	妥当に事業実施がされている。
総計・総合達成度						達成	適正		9,884,748		